

## 令和7年第4回定例会一般質問

No.	質問議員 氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁を 求める者	発言 時間
1	椿原 竜二 (一問一答)	1. 合併20年の総括について	<p>合併から20年を迎えるにあたり、町長が歩んでこられた20年間は、町の未来を切り拓くための挑戦と決断の連続であり、その積み重ねが現在の有田川町を形づくってきたと考える。</p> <p>「これは町民のためにやり切れた」と胸を張れる成果と、未来のためにさらに磨いていくべき課題は。</p> <p>【子ども・若者が戻ってくる町づくりについて】</p> <p>子育て・教育の環境づくりにおいて、町長が特に手応えを感じている取り組みは何か。そして、次の世代に向けて、さらに強化すべき政策は何か。</p> <p>【合併特例債の総括と今後の財政運営について】</p> <p>この20年間、合併特例債をどのように活用し、町としてどのように評価しているのか。特に将来負担への影響や事業効果の総括について問う。</p> <p>また、制度終了後の財政運営について、どのような長期戦略を描いているのか。</p> <p>【次世代へのバトンとしてのメッセージについて】</p> <p>これから町を担う新しいリーダーたちへ、町長が最後に残したい言葉は何か。</p> <p>【やり残したこと・後継に託す課題について】</p> <p>町長が次の世代へ託したい政策や課題は何か。</p>	町長 担当部長	60分
2	殿井 堯 (一問一答)	1. 自主防災組織について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災組織の運営は地元だが、設置後の支援体制はあるのか。</li> <li>・ 町の防災体制では、自主防災組織はどういう位置づけになっているのか。</li> </ul>	町長 担当部長 担当課長	30分
		2. 町指定避難所について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設および設備の整備を予定しているのか。</li> <li>・ 安全性などを確認し、必要であれば場所の見直しなどは行っているのか。</li> </ul>	町長 担当部長 担当課長	

No.	質問議員 氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁を 求める者	発言 時間
3	栗山 昌之 (一問一答)	1. 農業被害をもたらす有害獣などの駆除及び寄生するマダニによるSFTS感染の防止について	猪、鹿、アライグマ、猿及びハクビシンのほか天然記念物のニホンカモシカなどによる農業被害が多発している。 電動柵や防獣ネットなど個人による対策が講じられているが根本的に害獣を排除する対策、農地からの完全排除などの方針を検討する必要があるのではないか。 また野生獣に寄生するマダニによるSFTS感染が増えている。ペットからの感染も増えている。 マダニによるSFTS（重症熱性血小板減少症候群）に感染する可能性を極力下げするために行政としての対策はないのか。	町長 教育長 担当部長 担当課長	60分
4	増谷 憲 (一問一答)	1. 空き家対策について	1. 空き家の現状と対応してきた内容、空き家の実態調査は。 2. 空き家が存在していることへの認識は。 3. 空き家等を恒常的、適正に管理・助言できる審査会は設置されているか。設置を。 4. 空き家等対策計画の作成はどうか。 5. 空き家条例の制定はどうか。 6. 条例に明確化、もしくは次の点での対策はどうか。 ① 居場所や若者・シニアハウス等有効活用を重視した改修費用の助成 ② 除去費用の増額 ③ 税制上の措置 7. 空き家バンクへの申請と活用事例、周知はどうか。 8. 都市部への人口流出が空き家を生むこともあり、対策の展望がいののでは。	町長 担当部長	50分
		2. 物価高騰対策について	1. 国は来年3月末までの当面の物価対策を予定している。当町も上乘せや新たな対策が必要ではないか。 例えば、水道基本料金の減免、公契約の観点から会計年度職員の給料の増額など。	町長 担当部長	
		3. 風力発電事業について	ドリームウインドウ有田川・日高川風力発電事業について、現時点でも進まない状況にある。審査会で出された意見に答えられない。 また住民の中止・反対を求める意見を知事に渡している。 保安林の改正で解除が困難になっている。 地元同意は得られているとは言いがたい。日高川町長のように地元同意がなければ容認できないと答弁しているように事業者へ計画の断念の申し入れ、また国や県に保安林の解除をしないよう求めているが、どうか。	町長 担当部長	

No.	質問議員 氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁を 求める者	発言 時間
5	岡 省吾 (一問一答)	1. 有田川町の今後について	有田川町が発足して20年。町発展に向けたこれまでの歩みに、その陣頭に立って長年、尽力された中山町長に敬意を表すところ。積み残された課題については、次期町長選挙で選任される新たなリーダーの下、取り組まれていくことになるが、今後ますます有田川町が発展・進展していくことを切に願う。均衡ある町の発展、住民が安心して生活できる環境づくりなど、活気ある有田川町の今後について中山町長は新たなリーダーにどのような期待をされているか。また町長自身が積み残したと考える事柄はどのようなことがあるか。	町長	30分
		2. 文化財の保護・管理について	有田圏域はよく文化財の宝庫だといわれる。その中でも有田川町には国指定・選定の文化財が25件。県指定の文化財が32件。町指定の文化財が144件あり、長い歴史の中で培われた文化の高さが伺える。文化財の管理については地域に住む管理者が行っているが、特に過疎地域においては人口減少で今後の維持管理が困難になってくるものと想像される。人口減少地域の文化財保護・管理のあり方について町当局はどのように考えているのか。	町長 教育長 担当部長	